※令和４年度以降入学生用

学校番号	３２５

令和８年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	体育 （男子・柔道）	単位数	１単位	年次	２年次 （必）
使用教科書	「現代高等保健体育」　（大修館書店）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・武道に主体的に取り組むこと。
・相手を尊重し、礼法などの伝統的な行動の仕方を大切にすること。
・自分の身を守るための技術の向上と、危険を回避する行動の理解と実践。
・相手の多様な動きに応じた基本動作から、技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、得意技を用いた攻防を展開すること

２　学習の到達目標

・投げ技の基本動作を理解し、相手の動作に合わせた身体の動きを身につけ、攻防ができるようになる。
・各自の課題に対応した改善策を考え、仲間とのコミュニケーションを通じて思考力・判断力・表現力を養う。
・相手を敬い、礼節の態度をもって、積極的に取り組むことができるようになる。
・健康・安全に留意して学びにむかう態度を身につけ運動を習慣化する

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	相手の動きに対応した攻防の意味を理解し、柔道の特性に応じた運動の基本的技能を身につけている。 柔道の特性や伝統的な考え方、柔道を安全に行うための方法を理解している。	各自の運動課題に応じた動きや攻防を展開することができる。 班活動などを通じて、適切な練習計画を立案し、技能の改善に活かせるようにする。	柔道の楽しさを積極的に味わい、伝統的な行動の仕方を大切にしようとする。 自己の責任を果たし、健康、安全を確保して自主的に取り組もうとしている

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c		
1学期	体育理論・体つくり・受身・立技	オリエンテーション 体育理論 体つくり 身体をほぐす運動 体力を高める運動 受身(基本動作) 寝技 立技(大腰) (体落とし)	○	○	○	a: 柔道の礼法、受身などの基本動作ができる。伝統的な考え方や柔道を安全に行うための方法を理解している。 b: 自己や集団の課題に応じた取り組みを工夫している。 c:柔道の楽しさを味わい、相手を尊重し、安全を確保した行動を自主的に取り組もうとしている。	受講態度の観察 実技テスト 試合状況観察 ワークプリント
2学期	受身・立技	受身(基本動作) 立技(連絡技)	○	○	○	a: 柔道の特性に応じて、相手との攻防が展開できる。伝統的な考え方や柔道を安全に行うための方法を理解している。b:自己や集団の課題に応じた取り組みを工夫している。 c:柔道の楽しさを味わい、相手を尊重し、安全を確保した行動を自主的に取り組もうとしている。	受講態度の観察 実技テスト 試合状況観察 ワークプリント
3学期	受身・立技・試合	受身(基本動作) 立技(約束練習) 試合	○	○	○	a: 柔道の特性に応じて、相手との攻防が展開できる。柔道を安全に行うための方法や試合のやり方を理解している。 b: 自己や集団の課題に応じた取り組みを工夫している。 c:柔道の各技の練習や試合に積極的に取り組み、相手を尊重し、安全を確保した行動を自主的に取り組もうとしている。	受講態度の観察 実技テスト 試合状況観察 ワークプリント

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度